

広報 しばた

2015. **11**
since 1961 No.649



小さなラグーマン

—攻守共に楽しく、軽快な走り—

「タグラグビー」

ラグビーから生まれたスポーツ。タックルやスクラムなど選手同士が激しくぶつかることがなく、子どもや女性でも気軽にプレーできる。

(スポーツフェスティバル in 柴田「タグラグビー交流会」10月11日(日)仙台大学サッカー・ラグビー場)

平成27年9月 関東・東北豪雨

～生命(いのち)を守るために～

問 総務課 Tel.55-2111

9月8日(火)から11日(金)にかけて関東や東北を襲った豪雨。町内では、89戸が半壊、床上・床下浸水する被害が発生し、避難者は100人を越えました。また、収穫間近だった水稻などが倒伏・冠水しました。

近年の水害の中では大きな被害となった今回の豪雨を検証し、今後の災害への対応を考えてみましょう。



避難者

	場 所	避難者数
町施設	船岡生涯学習センター	58
	槻木生涯学習センター	12
	船迫生涯学習センター	58
集会所等	第3区集会所	1
	成田集会所	7
	葉坂寺	4
合計		140

○農業生産物・農林業施設被害

- 農林業施設災害額 34,000千円
- 水稻(倒伏および冠水)
127ヘクタール 20,225千円
- 大豆(浸水)5ヘクタール 1,215千円
- 菊(曲がりおよび浸水)
1ヘクタール 1,205千円

○町道・水路被害額 230,000千円
(10月5日時点)

○災害ごみ処分量 32.6トン
(10月22日現在)

建築物被害状況

単位：戸
10月22日現在

	半壊	床上	床下	計
槻木地区		2	8	10
船岡・西住地区		3	15	18
北船岡地区		1	6	7
下名生地区		23	18	41
東船迫・船迫地区		1	3	4
葉坂地区	1	1	1	3
入間田・海老穴地区		1	5	6
計	1	32	56	89

9月10日(木)16:00頃。冠水した船岡字大住町で土のうを運ぶ都市建設課職員

鷺沼排水路の水位の比較

平常時の鷺沼排水路



9月10日(木)の鷺沼排水路



② ①



③

町の動き

9月9日 大雨警報発令(気象庁)
町内被害状況確認

9月10日 警戒本部設置第1回会議
警戒本部設置第2回会議

9月11日 町が町民に対し大雨特別警報発令
災害対策本部第2回会議
災害対策本部第3回会議(本部解散)
県内の大雨特別警報解除

3 30
4 00
8 30
16 00
19 30
23 10
22 50
22 00
21 50
17 30
16 00
8 30
14 00
8 30
3 45

- ①第二たんぼ幼稚園裏の法面が崩落(入間田字外谷地)
- ②道路が冠水した槻木地区(第17B区)
- ③9月10日(木)の阿武隈川河川敷(槻木大橋)

大雨により、周囲よりも低い住宅地域で床上・床下浸水、農地でも冠水などの被害が発生しました。

このような場合、町内の排水路にたまった雨水は、ポンプや排水機場を稼動することで白石川や阿武隈川へ強制的に排水します。

○古河水門、須川前水門、三名生排水機場などは白石川へ排水
○四日市場・五間堀の各排水機場や前田水門などは阿武隈川へ排水

しかし、気象庁が大雨警報を発令した9日(水)3:45から、七ヶ宿ダムでは許容貯水量を超え、10日(木)17:30から放流を始めました。この放流と降り続く雨により、両河川の水位が上昇。その水位は、排水機場などが両河川へ自然流下する水位を上回り、水門などを閉め、ポンプを稼動させ強制排水しました。その後雨量は時間が経つことに加え、同日23:00には、余目観測所で44mm、入間田観測所で64mmと土石流などの災害が誘発される恐れのある雨量を観測しました。これらの要因により冠水被害は拡大していったのです。

山間地では、土砂災害が発生し、自主的に避難する近隣住民もいました。私たちは水害などの自然災害のとき、どのような行動をとればよいのでしょうか。

避難情報の種類

避難指示	避難勧告	避難準備情報	情報内容	取るべき行動
被害の危険が目前に迫っており、既に人的被害が発生しているか、発生する危険性が非常に高いときに発令される。	災害発生の恐れがある地域に対し、避難を勧め促すための情報。	災害発生の恐れがある地域に対し、避難を勧め促すための情報。	避難勧告が発令される可能性が高いとして、避難勧告にさきがけて出される情報。	身体が自由などで避難行動に時間を要する人は避難を始めなければならない状況。それ以外の人は、持ち出し品の用意など避難準備を開始する。
直ちに避難を開始しなければならぬ。時間的に避難する余裕がない場合は生命を守るための最低限の行動をとらなければなりません。	強制力は無いが、人的被害が発生する危険性が高く、自主的に避難行動を開始すべき状況にある。	強制力は無いが、人的被害が発生する危険性が高く、自主的に避難行動を開始すべき状況にある。	避難勧告が発令される可能性がある。避難準備を開始する。	避難準備情報とは、防災気象情報や白石川・阿武隈川の水位、総雨量、1時間あたりの雨量などを考慮し町長が町民に対して発令するものです。避難情報には、表の3種類があり、災害発生の警戒度に応じて発令されます。

避難情報と取るべき行動

避難情報とは、防災気象情報や白石川・阿武隈川の水位、総雨量、1時間あたりの雨量などを考慮し町長が町民に対して発令するものです。避難情報には、表の3種類があり、災害発生の警戒度に応じて発令されます。

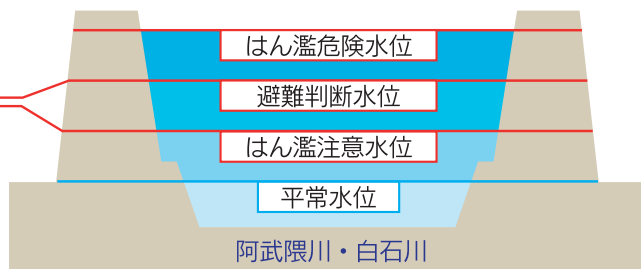
今回町は白石川や阿武隈川の水位が上昇し、町内で冠水する箇所が増え、大雨が続く見込みであったため避難準備情報を発令しました。

この避難準備情報は、町民の皆さんに避難の準備を促がし、身体が自由などで避難に時間がかかる方（災害時要配慮者）に対して避難の開始を呼びかけるために出されるものです。

川の水位と判断基準



9月10日(木)、白石川左岸側から柴田大橋橋桁を撮影



●白石川（観測地点：柴田大橋）

9月10日 17:00～23:00に水防団待機水位である10.50mを超える水位を観測する。
 9月11日 0:00～5:00には、はん濫注意水位である12.00mを超える水位を観測する。最大水位は9月11日1:00に観測した12.94mで、避難判断水位である13.40mには届かなかった。

●阿武隈川（観測地点：角田市江尻）

9月10日 4:00～8:00、18:00～22:00に水防団待機水位である9.50mを超える水位を観測する。
 9月10日 23:00～11日13:00には、はん濫注意水位である10.80mを超える水位を観測する。最大水位は9月11日6:00に観測した12.49mだった。

- 水防団待機水位：水防団が水防活動の準備を始める目安となる水位
- はん濫注意水位：法崩れ、洗掘、漏水など災害が発生する危険性がある水位。水防団が出動して河川の警戒にあたる水位。
- 避難判断水位：町による避難勧告などの発令判断の目安であり、住民の避難判断の参考になる水位。

避難情報などの入手方法

町や防災関係機関、マスメディアなどから、気象情報や避難情報などをさまざまな手段で提供されています。

●緊急速報（エリア）メール

気象庁が配信する緊急地震速報や土砂災害警戒情報、国・地方公共団体が配信する災害・避難情報を、回線混雑の影響を受けずに受信することができます。



●柴田町メール配信サービス（登録制）

おもに、町内の防災関係情報をお伝えしています。

メール配信を希望される方はこちらから登録してください。



町ホームページからも登録できます。

<http://www.town.shibata.miyagi.jp/mail/index.html>

●テレビ（各種ニュース・データ放送）、ラジオ



●町広報車や消防、警察車両による巡回広報



●インターネット

- 宮城県土砂災害警戒情報システム
<http://www.doshasaigai.pref.miyagi.jp>



- 国土交通省リアルタイム川の防災情報
<http://www.river.go.jp/>



- 気象庁土砂災害警戒情報(宮城県)
http://www.jma.go.jp/jp/dosha/312_index.html

日頃の備えで被害を最小限に

災害による被害は、日頃の備えによって減らすことができます。防災用品を揃え、避難する場所や安全な道順を確認しておきましょう。

適切な避難のために、テレビやラジオなどからの気象情報や町からの避難情報などに注意してください。夜間の避難は二次被害の恐れがあり大変危険ですので、できるだけ余裕を持って避難しましょう。自分の命を守れるのは自分しかいません。各地区で実施されている防災訓練などに積極的に参加しましょう。住民同士が協力し合い、地域での防災力を高めることが、大きな災害の被害を最小限に抑えることにつながります。

住民同士が協力して、地域を守る



消防団第2分団9班（下名生地区）副班長
おおぬま たみお
大沼 民夫さん
(56歳)

今回の大雨で、三名生排水路の水位が70cm近く上がりました。すぐに地区の団員を集めて、土のうを積んだり、ポンプで排水したりしましたが、水位は下がりませんでした。排水用小型ポンプの能力が追いつかないほどの水量でした。

下名生地区は水が上がりにやすいので地域住民の防災意識は高いのですが、今回の状況を見ると、各家庭での土のうなどの備えが少し不足していると思いました。

町には土のうを各詰所へ補充することとポンプなどの設備の充実を図って欲しいです。

また、私たち消防団は、危険な場所で消防・水防活動を迅速にしなければなりません。そのため、団員が連携し活動できるように、日頃から集まって親睦を深めています。

皆さんも災害時には、自分の家は自分で守るという意識と、近所の人たちと協力して地域を守ることが重要ではないでしょうか。日頃からコミュニケーションを取り合って、地域の防災力を高めましょう。



小型ポンプで排水にあたる(下名生地区)

しばた健康まつり2015

～食べて・動いて健康づくり～

問 健康推進課
TEL55-2160



10月10日(土)、保健センターで健康まつりが開催されました。保健センターの3つのフロアには、骨密度測定やウォーキング講座などの各種コーナーが設けられました。会場には353人が訪れ、健康づくりを体験しました。

自分のからだを知ろう！

血圧測定など身体測定をし、多方面から自分のからだのことを知ってもらいました。



② アルコールパッチテスト



① 脳年齢測定



④ 血圧測定



③ 血管年齢測定

食体験・食育コーナー

●食事で骨コツ貯筋（ロコモ丼試食、塩分が適性濃度のみそ汁試飲）

足腰などの運動器が弱って起こるロコモティブシンドローム（ロコモ）予防料理（ロコモ丼）の試食コーナーです。

ロコモ丼はロコモを予防するために筋肉と骨を丈夫にするため、たんぱく質やカルシウム、ビタミンC・K・Dをバランスよく取ることができるメニューです。

長山真理子さん・聖さん親子（西住地区）

ロコモ丼はおいしかったです。また、塩分の適正量も知ることができ、勉強になりました。



●やさいと仲良し！おいしいベジ体験

野菜ソムリエが野菜のおいしさを引き出す工夫やレシピを紹介しました。野菜の試食もあり、親子で一緒に野菜のおいしさを体験しました。

秋元弥重子さん（船岡地区）

小さい子どもが二人いて、どちらも野菜が苦手です。このイベントに参加して生野菜を食べるのは初めてですが、ちゃんと食べてくれました。今日の話聞いて、家でも食べられる工夫をしたいです。

「わが家のみそ汁」レシピコンテスト表彰式



最優秀作品「野菜たっぷりとんだしじる」を作った佐藤諒香さん（船岡小学校5年生・写真左）と優秀作品「野菜たっぷりみそじる」を作った鹿野有紗さん（槻木小学校5年生・写真右）

●ハンドマッサージ体験コーナー



長蛇の列ができるほどの人気のコーナー



骨密度測定

かかると超音波をあてて骨密度を測定します。

菊地寛子さん（槻木地区）

骨密度を測定した結果、年相応の平均的な数値でした。今日の結果を受けて無理のない範囲で運動を続けて、健康を保ちたいです。

- ① 脳年齢測定：ゲーム感覚で、簡単に脳年齢を測定
- ② アルコールパッチテスト：アルコールをつけた脱脂綿を腕の皮膚の薄いところに貼り、アルコールへの耐性を判定します。
- ③ 血管年齢測定：指先で血管年齢を調べます。
- ④ 血圧測定



121 柴田町長 滝口 茂

少しずつ地方から人がいなくなってきました。国は、こうした人口減少問題への対策を最重要課題に位置付け、「まち・ひと・しごと創生本部」を

立ち上げました。50年後に1億人程度の人口を維持するための長期ビジョン

と2020年を目標とした総合戦略を策定しました。町も10月中旬に地方

版総合戦略（フットパスによる元気なまちづくり）をまとめる予定です。総

合戦略の主な柱は、一つに「地方への新しい人の流れづくり」、二つに「しごと

づくり」、三つに「若い世代の子育てなどへの支援」、四つに「時代にあった

地域づくり」です。その中で一番重要なのが、「しごとづくり」です。「地方

に人が住まなくなったのは、地方に仕事がないから」というのが国の言い分

です。

しかし、よく考えてみると地方から

仕事を奪ったのは、他ならぬ国の政策によるところが大きかったのではないかと

思っています。バブル崩壊後、わが国の再生のために行政改革や経営改革が必要だ

として、市町村合併や農協の合併、郵便局の民営化を強力に進めました。その結果、

身近に役場職員や農協職員、郵便局員がい

地方創生と仕事おこし

なくなり、安定的な雇用の場が失われました。さらに、地方の基幹産業である農業を衰退させたのも国の猫の目行政によるものでした。

一方、都会では便利で快適な生活環境やスポーツ文化、アミューズメント施設などの整備が加速しています。刺激的でダイ

ナミックな都市の魅力の増大は、地方からの若者流出に拍車をかけるばかりです。「規模の経済」を追い求め、

効率化や大規模化を優先する限り、地方創生は困難だと思えます。

こうした価値観を転換し、人と人が助け合いながら、一緒に地域をつくるのが本物の地方創生ではないかと思えます。地方にとつての光明は、自然の中で地域の人たちと交流を深めながら、自分のスキルを活

かして起業する若者が増えてきたことです。彼らは、地域で新たな生き

方を提唱し、地域をリードする役割を担い始めています。

地域経済への貢献度は、まだまだ力不足ですが、こうした若者たちの田園回帰の流れを積極的に受け止め、地域の活性化や仕事おこしにつなげていくことが大切です。

今後、若者たちによる小さな仕事おこしをサポートしながら、地方創生につなげて参

ります。

ります。

シリーズ 町民環境課 TEL 55-2113 FAX 55-4172

しばたecoライフ情報 ⑧

～環境にやさしいまちを目指して～

日がすっかり短くなり、街灯が早くから街を照らす季節になりました。そこで今回は白熱電球からの切り替えが進むLED照明を取り上げます。



LED照明とは

発光ダイオードを使用した照明器具。これまでの白熱電球に比べ、5分の1から10分の1以下の消費電力で済み、長寿命です。消費電力が少ないということはCO₂の排出量を減らすことにつながります。また、LED照明は白熱電球に使われている水銀などが含まれておらず、環境にもやさしい製品になっています。

※平成26年度東北電力の二酸化炭素係数は0.572
※年間点灯時間は8時間/日とし、約3,000時間とした。

例：白熱電球(100W)と代替できるLED照明との比較

比較条件	CO ₂ 排出量
白熱電球100W	約172kg-CO ₂
LED15.7W	約27kg-CO ₂
削減数	約145kg-CO ₂



私たちの身の回りには、防犯灯や自動車のライトなどで幅広く、従来型の白熱電球や水銀灯に変わりLED照明が使われています。町では、みやぎ環境税を利用し、防犯灯のLED化を進めています。

このようにLED照明は白熱電球に比べ、環境にやさしくメリットがたくさんあります。もし、ご家庭で白熱電球を使用されている方は、LED照明への切り替えを検討してみたいはかがですか。



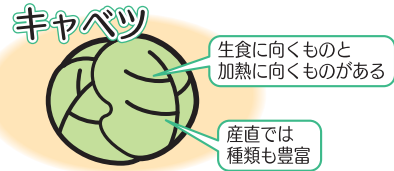
テーマ：地産地消で健康に！

さんりしほう
ことわざ：三里四方の野菜を食べろ

三里四方（約12キロメートル以内）で採れた野菜を食べれば、健康で長生きができるという意味です。地域で採れた野菜は、収穫後に短時間で手に入るため鮮度も良く栄養価が高いまま食べることができます。野菜など地域の旬の食材を取り入れて、おいしく食べれば心や身体の健康につながります。地域の旬の食材を探してみましよう。

木よう市※の方に
聞きました

Q 11月ごろの旬の野菜と選ぶコツを教えてください



Q 野菜のおすすめレシピを紹介してください

【白菜と豚バラのみそ炒め柚子風味】

鶏肉やひき肉、油揚げ、秋鮭で炒めたり、きのこを加えるのもお勧め。白菜を塩もみしてから炒めるとシャキッとおいしい。

【材料(2人分)】

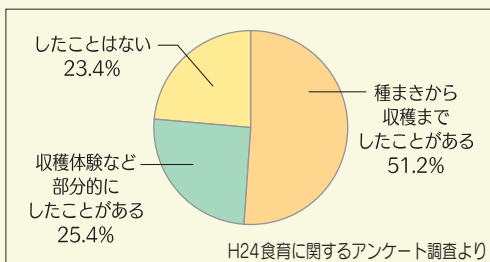
- 白菜(4~5枚)
- 柚子(1/2個)
- 豚バラ肉(150g)
- 味噌・砂糖(各大さじ1)
- 中華あじ・塩・こしょう・サラダ油・酒・水(少々)

【作り方】

- ①豚バラは一口大に切る。白菜は一口大にそぎ切りし、塩もみしてしんなりしたら水分をしぼる。柚子の皮は削いで千切りにする。
- ②味噌、砂糖、中華あじを水と酒で溶かしておく。
- ③豚バラを炒めて塩、こしょうを入れて白菜を炒める。
- ④②を入れて炒める。そのあと、柚子を入れて少し炒めてでき上がり。

※「木よう市」 毎週、木曜日に役場東口玄関で、地域の農家の方が作った野菜やお弁当を販売しています。また、地場産物の産地直売所や農家レストランの情報は町ホームページで見ることができます。(http://www.town.shibata.miyagi.jp/)

農業体験をしたことがありますか？



野菜などを栽培してみると、たくさんの時間と労力がかかっていることなどに気がきます。これにより、食べ物が以前よりおいしく、大切に見えてくるかもしれません。

体験したことがない方は、手軽にできるプランターでの栽培や町施設の地産地消の体験事業に参加してみてもいいですか。

槻木生涯学習センターの「親子で学ぶ郷土の自然学級」

上川名地区活性化推進組合の協力のもとに開催する、地元の自然や農業、地産地消に関心を持ってもらう講座です。

6月に植えたさつまいもを、10月3日(土)に収穫し焼き芋会を行いました。11月14日(土)には、愛宕山コースの里山ハイキングと芋煮会を行う予定です。

お子さんには、どれも新鮮な体験です。親子の絆も深まり、地元愛も育みます。



親子で楽しく、さつまいも掘り

まちかど NEWS



曼珠沙華を眺める天野さん親子

※来場者数1万4,500人



曼珠沙華は「幸運を呼ぶ天上の花」とも言われています。

曼珠沙華が深紅の絨毯に

NEWS

9月19日(土)、第3回しばた曼珠沙華まつりが開幕しました。今年は昨年より2万本多い12万本もの曼珠沙華が秋の船岡城址公園に咲き誇りました。この日は、青空が広がる秋晴れとなり、真っ赤な曼珠沙華とのコントラストを町内外から訪れた方たちは楽しんでいました。

仙台市からお父さんと一緒に訪れていた天野琴心ちゃん(あまののこころみ)は、「初めてみた彼岸花はともきれいです」と笑顔で話してくれました。

秋の恵みに感謝を込めて

NEWS

9月27日(日)、太陽の村で12回目となる「しばた新米まつり」が開催され、家族連れなど900人が訪れました。

当日は、新米を使った楽しくおいしいイベントもありました。新米200袋の即売や新米で作ったおにぎりの無料配布コーナーには、長蛇の列ができました。

新米を買いに来た安藤房子さん(あしたけふさこ)は、「今年の新米がどんな味なのか、食べるのが楽しみです」と話してくれました。



来場者に振舞われた新米おにぎり

広 告

広 告

ポットマム展示即売会



気に入ったポットマムを探すお客様

柴田町観光物産交流館で9月18日(金)から20日(日)まで、ポットマムの展示即売会が行われました。このまつりでは、毎年柴田鉢花研究会が丹精込めて育てたポットマムを販売しています。ポットマムを買いに来た方々は、お気に入り鉢花を見つけると手に取っていました。なかにはダンボール箱一杯に買っていた方もいました。

丹治く子さん(槻木地区)

は「立派できれいなポットマムを買えてよかった」と満足げでした。

おしゃれを楽しむ

阿部よしいさん100歳

NEWS

9月15日(火)、阿部よしいさん(槻木地区)が自宅で100歳の誕生日を迎えられました。よしいさんは、息子さん夫婦と暮らしていますが、布団上げなどは自分でしています。また、毎日、季節感のある服を選んで着ているとおしゃれな方です。

よしいさんの健康の秘訣は、少量でも毎日3食欠かさず食べること。いつまでも元気におしゃれを楽しんでください。



ご家族と町長から祝福されるよしいさん



槻木駅西口広場の植え込みのごみ拾いをする児童たち

自分たちの街をきれいに

NEWS

10月1日(木)、槻木小学校全校児童による「クリーン作戦」が行われました。児童自ら清掃場所を決め、自分たちの住む地域をきれいにする取り組みです。約30分で、児童たちが持つごみ袋は一杯になりました。小学校周辺はきれいになりました。

清野晃生さん(6年生)は

「清掃を通して槻木の地域や、そこに住む人の心もきれいにする気持ちでごみを拾いました」と額に汗を浮かべていました。

広 告

広 告

地震対策総合防災訓練

NEWS

10月4日(日)、槻木小学校で大規模地震を想定した防災訓練が行われました。県防災へリも参加するなど大規模な訓練となりました。第15・16行政区の皆さんも参加し、倒壊した家屋で下敷きとなった人の救出や初期消火の訓練に臨んでいました。

第16行政区の大浦昭一おおのうらしやういちさんは「災害時に取るべき行動を確認しようと訓練に参加しました。この経験を災害時に役立てたい」と真剣な眼差しで話されました。



機敏な動きで救出訓練を行う参加者



中秋の名月を眺める和服姿の女性たち

秋の風物詩「中秋の名月」

NEWS

9月27日(日)、しばたの郷土館で「中庭観月会」が開かれました。今年は天候に恵まれ、普段よりも大きく明るい満月を観ることができました。来場した方々は箏の音色や抹茶を楽しむながら中秋の名月を満喫していました。

お子さんと一緒に来ていた遠藤みゆきさん(船岡地区)は「毎年来ていますが、今年の名月は例年になくきれいです」と名月を観た感想を話されました。

ダブルスで2連覇達成

NEWS

7月25日から8月2日まで、スペシャルオリンピックがロサンゼルスで開催されました。この大会は、4年に一度開かれる世界大会で、オリンピックに準じた競技を知的障害のある人たちが競い合います。この大会のテニス競技に小原愛美おほらあいみさん(船岡地区)が出場しました。小原さんは、シングルス銅メダル、ダブルスで前回大会に続き金メダルを獲得しました。小原さんは「2連覇できて嬉しい」と喜びを語ってくれました。



世界の強豪を抑え、頂点に立った小原さん

広 告

広 告



兄弟仲良く展示品で遊ぶ阿部流成さん

賑わいを見せた遊びの祭典

10月11日(日)と12日(月)の2日間、仙台大学で「2015東北こども博」が開催されました。2日間の来場者数は約17,700人で大盛況となりました。展示されていたおもちゃに興味深々の子どもたちは、手に取り遊びながら楽しい時間を過ごしていました。大河原町から来ていた阿部流成さん(小学校2年生)は、「毎年来ています。今年もたくさんのおもちゃがあつて楽しいです」とうれしそうに話してくれました。

仙南B級グルメ集合

今年で5回目になる「しばたB級グルメフェスティバル」が、10月4日(日)船岡城址公園で開催されました。柴田町商工会青年部が主催し、約6,000人が来場しました。来場者はお目当てのグルメを買い、青空の下でお腹を満たしていました。

ご家族と一緒に来ていた関信哉さん(船岡地区)は、「初めて来ましたが、たくさんの人出に驚きました。料理もおいしいです」と楽しんでいました。



おいなりさんやつみれ汁などを味わう関さん一家



稽古の成果を発揮「舞踊」

ふるさと槻木をみんなで盛り上げ

10月17日(土)と18日(日)の2日間、槻木生涯学習センターで「槻木地区ふるさとまつり」が開催されました。絵画や陶芸、盆栽などの愛好家による作品が展示され、ホールでは、子どもたちのお遊戯や槻木地区住民の歌や踊りに、観客席から温かい拍手が送られました。

友人と鑑賞していた玉川ゆり子さん(四日市場地区)は、「知っている人が出演し、楽しく見ることができました」と感想を話してくれました。

広 告

広 告

俳句

紅葉が山野染めゆく冬間近 船岡 安藤 節子
過ぎし日の芋の主食をなつかしむ 下名生 ふみ子
一筋といへる道あり文化の日 槻木 永井 堯

刈田岳古道踏みしめ紅葉がり 西船迫 安ヶ平奈津枝
老二人野の花いけて月見かな 船岡 可沼 妙子

朝市で松茸見つけ心揺れ 西船迫 玉手みき子
片思いつくろふ笑みや曼珠沙華 葦神 葛

霧晴れて鬼押出の巨岩かな 江戸 裕子
九階に住みて日高の鰯雲 上遠野三恵

木枯や昔電車が走る道 鎌形 清司
洞門の明かり窓より雪虫 鈴木 清子

霜の夜の母の独語を聞きをりぬ 鈴木 三山
追憶のその中石榴裂けにけり 鈴木 幸子

故里の瀬音身を透く冬紅葉 相馬カツオ
ビー玉に気泡がひとつの神の旅 石母田星人

秋陽に瞬きもせず菊羽織る 船岡 千 舞

漢詩七言絶句

考察安全保障
安保案是論高潮 安保是を案じ論高潮
希求平和排戦争 平和を希求し戦争を排す
時有来寇無対力 時に来寇有りて対する力無し
孤立無援陷窮状 孤立無援なれば窮状に陥らん
四日市場 大久保義正

川柳

もういらぬ雨の確率0がいい 西船迫 安ヶ平良三
亡き吾子が残してくれた良き友よ 船岡 阿部美代子

懐かしい稲刈り終えてイナゴ捕り 北船岡 佐々木正吉
検診の異常なしでの秋うらら 西船迫 後藤 文子

長雨で高嶺の花の秋野菜 西船迫 後藤 国男
鍋と腹食材多く休みなし 船岡 小林 夢子

秋の空においほのかな金木セイ 槻木 加藤 利通
いきいきと笑顔あふれる敬老会 槻木 つきのき町子

猛暑から一気の秋にとまどいし 四日市場 曳地 真翔
子の嘘を目で見抜くさすが母 四日市場 郷土 山櫻

彼岸花秋から冬への道しるべ 西船迫 渡辺 晴江

短歌

十六夜も芒穂花に酒を酌み 館の山に月かくる迄 大槻 信吉

三才の内孫帰る蔵王駅 「はじめまして」とはにかみながら 船岡 可沼 妙子

かたりべの「汗かき阿弥陀」の話聞き 船岡 森田 眞六
柴田のむかし孫が得意に 本船迫

彼岸花別世界のように咲きおりて 船岡 沢田 順子
なつかしき人びとふと甦り

告 白

告 白



夢空間 2015

最終兵器俺達
(ペンネーム)



切り絵「阿武隈川風景」
佐藤光雄さん (西船迫四丁目)



はなちゃん (ペンネーム)

smile kids

お子さん(4歳まで)の写真をお待ちしています。写真の裏にお子さんの名前を必ず書いてください。投稿者の住所、氏名、電話番号、お子さんの名前・生年月日を明記し、「ひとこと」を添えて応募してください。

ふれあいマイタウンは、町民の皆さんからの応募・紹介でつくるコーナーです。俳句・川柳・短歌に興味がある(こほう文芸)、自己表現コーナー(夢空間2015)、お子さんの成長の写真やかわいい孫の写真を載せたいという方は、はがきなどで11月10日(火)まで応募ください。

※応募する場合は投稿者の住所、氏名、電話番号、ペンネーム(希望者のみ)を明記してください。

■連絡先/まちづくり政策課 ☎54-2111

こども美術館



「理想の国」(絵)

東船岡小学校6年
みずかみ まさき
水上 正喜さん



「たいようのはな」(絵)

東船岡小学校1年
こばやし さよ
小林 咲代さん



柴田町フェイスブック

<https://www.facebook.com/town.shibata>

町の景色やイベントなどを紹介!

☎まちづくり政策課 TEL54-2111



広 告

思いを胸に

Vol.125

『多くの技と知識を吸収したい』

町内で働く若い世代の方の思いや夢などを紹介するコーナーです。



旋盤にプログラムを打ち込む大槻さん



株式会社 大善製作所

大槻 拓也さん (24歳)
おおつき たくや

斉藤 華奈さん (26歳)
さいとう かな

船岡工業団地で操業している大善製作所は、鉄や真鍮、アルミニウムなどの金属を旋盤で加工しています。今回は入社して間もない大槻拓也さんと斉藤華奈さんを紹介いたします。

大槻さんは、旋盤の中でもコンピューターで自動制御するNC旋盤を使い、マイクロメートル（1000分の1ミリメートル）単位で精度が求められる精密な金属部品を加工しています。旋盤は自動化されていますが、作業をしているうちに誤差が生じるため、自分の手で調整しなければなりません。大槻さんは「調整が必要な時期を見極めるため、慎重に作業しています」と仕事の難しさを実感しているようです。また、「最近はずいぶん先輩から仕事を任せられるようになり、力が身についてきているという手ごたえを感じています」と目を輝かせます。斉藤さんは、作った部品に欠陥がなく、完璧な仕事を成し遂げたときに充実感が湧くそうです。

しかし、まだまだ経験が浅く先輩から教わる人が多い二人。大槻さんは「今は仕事をしていて、

1秒たりとも無駄な時間はありません。様々な技術と知識を吸収して、将来、より高いレベルの仕事に生かしていきたい」と夢を語ってくれました。

発注者の注文に柔軟に応じる大善製作所。その技術は代々受け継がれていかなければなりません。大槻さん、斉藤さん、今の調子でがんばってください。

株式会社 大善製作所



柴田町大字船岡字山田1-20
TEL 55-4861

昭和46年創業。自動化された旋盤などを使用し金属やプラスチック製品の加工を行っている。タイにも工場があり、海外でも製造を手掛けている。従業員数25人。

人口と世帯数
(平成27年10月1日現在)



38,399人
(前月比32人増)



19,117人
(前月比28人増)



19,282人
(前月比4人増)



15,351世帯
(前月比34世帯増)

※平成24年7月9日の住民基本台帳法の改正に伴い、外国人を含む人口と世帯数となります。